

暑中お見舞い申し上げます。皆様には、お元気でご活躍の事と存じます。
第352回宮城県議会6月定例会が去る7月3日に閉会致しました。

東日本大震災関連を始め、水素燃料電池や畜産クラスター関連の補正予算等、68議案、意見書7件を可決採択いたしました。復興予算の地元負担分は、当初の提示より少なくなりましたが、後年度県財政に重くのしかかって来るのではないかと、割り切れない思いがいたします。

今議会では、予算特別委員会で質問をする時間を頂き、水素燃料電池車及び水素ステーションや、今後の地域包括ケアシステムについて質疑し、知事の考えを質しました。(内容につきましては、裏面に掲載いたしました。)

仮称「子供・子育て」条例の骨子案に対しましては、沢山のパブリックコメント(県民意見募集)を頂きありがとうございました。また、その条例案につきましてもパブリックコメントを、7月中頃から実施中であります。ご意見を多数下さいます様お願い致します。

今回の県政報告は、環境・医療福祉を主なものでまとめましたのでご覧願います。

今後ともご意見ご要望を賜ります様お願い致します。

宮城県議会議員 わたなべ 忠悦

再生可能エネルギーは登米市の発展に不可欠。
その信念のもと、発電施設の設置を働きかけています。

活動アルバム

迫支援学校訪問



障害を持つ方々をとりまく諸問題について先生にお話とご要望をうかがいました。

あやめ園



あやめ園まつり

迫風園訪問



入園者の方々との語らい



石ノ森章太郎ふるさと記念館訪問

さくら学園訪問



子どもたちとお話し中



園長先生にお話をうかがいました。



路面販売の農家の方と。見事なとうもろこしです!

活動のリズム、ひらめきの音

議会総括質疑 & 回答要旨

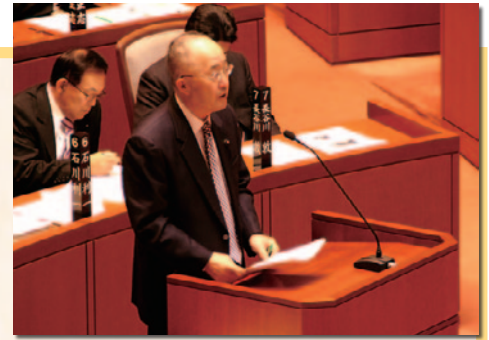
平成27年6月 定例県議会 予算特別委員会



質問

【地域医療介護総合確保基金】について（消費税，地域に於ける医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備に関する法律のこと），お伺いします。

- 1) 介護分野ではどのような事業に基金を充当できますか。
- 2) 県内における地域包括ケアシステムの進捗状況についてはいかがですか。
- 3) 市町村において地域包括ケアシステムがなかなか進まない理由についてはどうお考えですか。
- 4) 地域包括システムについて，モデルを作って市町村に普及させてはいかがですか。
①災害対応 ②環境 ③経済発展 ④東北のトープランナー等



地域福祉問題

【答弁】伊東保健福祉部長

- 1) 充当できる介護分野 ▶ いろいろな地域包括ケアシステムの構築に活用していきたいと考えています。
- 2) 地域包括ケアシステムの県での進捗状況 ▶ 介護保険給付の訪問介護とか通所介護の地域支援事業への移行を，平成29年度までに一環としてやらなくてははいけません。県内市町村で平成27年度に3つ，平成28年度には6つ移行する予定です。
- 3) 市町村で進まない理由 ▶ ささまざまな主体の参加が必要であり，関係者間の合意形成に向けた十分な調整を図ることや，人材育成などにも取り組む必要がございます。地域の実情や特性に応じて進めていかなければならず，時間を要している市町村かあると考えております。
- 4) モデルを作って市町村に普及は？ ▶ すでに取り組んでおります。今後も県内外のよい事例など先行モデルとして情報提供してゆくほか，研修会あるいは連絡会議の開催などを通じて，更に市町村を支援してまいります。



質問

地球再エネ水素ステーション導入費について質問いたします。

- 1) 水素エネルギーの普及促進について，創造的な復興の重点施策にするとしていますが，いつから構想していたのかお伺いします。
- 2) エネファームについてですが，エネルギー効率の高い装置であり，普及に向けて単独で補助制度を設けた町もあります。県で補助制度を設けないのは，環境負荷低減を目指す知事の方針とは相容れない（相反して両立しない）ではありませんか。
- 3) 電気自動車の方が燃料電池自動車よりも早く普及すると思いますがいかがですか。
- 4) 自然エネルギーが豊かな我が県として，一次エネルギーの開発に本気で取り組んではいかがででしょうか。



再生エネルギー問題

【答弁】村井知事

- 1) 水素エネルギーの普及促進構想 ▶ 昨年度の早い時期から水素エネルギーの利活用についての検討を開始し，先頭に立ち，関係事業者との意見交換や，FCV（燃料電池自動車）を普及促進させるための協議会への参加要請等を行ってまいりました。
- 2) エネファームについて ▶ 今まで国が非常に手厚い助成をしております。今年度で国の助成が終了する見込みの為，今年度からエネファームの普及に向けた仕組みづくりや認知度の向上を図っていきながら，今後普及拡大策について具体的に検討を進めていく方針です。
- 3) 燃料電池自動車 ▶ 電気自動車は極めてクリーンな乗り物と思いますが，走行距離が非常に短いという欠点があり，将来性，航続距離を考えると，FCVを普及させる方が，災害の多い宮城県，日本の場合は非常に良いのではないかと思います。

【答弁】佐野環境生活部長

- 4) 一次エネルギーの開発 ▶ 県内の豊かな地域資源を活用した再生可能エネルギーの導入を積極的に進めております。水力発電の導入の検討を進めており，さまざまなエネルギー資源の活用にも努めていきたいと考えております。また，二次エネルギーの普及についても促進してまいります。

平成26年11月 定例会

国保にも手当の制度を



質問

国家公務員共済や社会保険では、産休・育休で休んでいても手当が出ますが、国保の方々は手当されていません。農家、商業を始めとする自営業者への手当を県単独で考えることは難しいかもしれませんので、地方創生の一つとして国に働きかけをしてはいかがでしょうか。

【答弁】伊東保健福祉部長

国民健康保険には出産一時金の制度はありますが、雇用関係がない方が被保険者の中心となっていることから、休業の定義や補償すべき額をどうするかなどの問題があり、社会保険等と同様の手当を設けることは制度上なじまないと考えます。

平成25年9月 予算特別委員会総括質疑



質問

- 1) 再生可能エネルギーの活用、スマートシティ等の要望について、実施内容と、県内のどの地域で実施をお考えか伺います。
- 2) 太陽光発電で断熱がよく、電気自動車のバッテリーを使って、個人の自宅で全部賄えるスマートハウスが出ています。ここ1・2年でスマートシティに繋がる事業に対する補助等の手当でも必要と思われるのですがいかがですか。
- 3) エネルギーの分散化を図る必要があると考えますが、エネルギー効率のよくなってきている、コージェネレーション(熱源より、電力と熱を生産する)、水素燃料と残ガスを燃焼させる方法等に目を向けて誘導する施策が必要と考えますが如何でしょうか。

スマートシティ構想

【答弁】元木環境生活部長

- 1) **実施内容・実施地域**▶ 環境未来都市で選定された岩沼、東松島市、経産省の補助事業に選択された石巻、気仙沼、山元町と、あるいは仙台の田子など動いております。今のところ被災地が中心で、内陸でも動きがでているので、今後拡大をしてみたいです。
- 2) **スマートシティ事業への補助**▶ スマートハウス、あるいは電気自動車の蓄電機能を活用したスマートタウンのあり方等、具体的な検討が始まっている地区もあります。大学も一緒に入った形で動いているので、ぜひそういうところを検討しながら、広げられるものは広げていきたいと考えております。
- 3) **コージェネレーションへの誘導**▶ コージェネは、これからのエネルギーとして非常に重要と考えており、今、計画づくりをしています。ぜひコージェネも大きな資源として展開してみたいと思います。



平成25年7月 予算特別委員会

復興問題



質問

2012年度の政策評価は、生活再建や生活環境の確保でやや遅れている自己評価であり、平成24年度県民意識調査の結果にも同様の評価ですが、知事の所感はいかがですか。

【答弁】村井知事

保健・医療・福祉は順調ですが、インフラの復旧・復興で資材不足や用地確保などにより事業が遅れております。



グループ補助金で事故線り越しが一番深刻であります。グループ補助金は経済産業省で土地のかさ上げ等のインフラ整備は国交省であります。国の縦割りが事業振興の障害になっているのではありませんか。

【答弁】村井知事

この事業自体はセットになっているわけではなく、順序だった工事ですので、縦割りが原因ではないと考えております。補助金が返還になっても簡素化し、短縮して再交付できるようにしていかなければなりません。

平成24年2月 定例会総括質疑

地域医療問題



質問

医師の偏在解消について、従来より一歩踏み込んで推進すべきではないかと思われそうですが知事のお考えを伺います。

【答弁】村井知事

地域医療の課題、中でも医師確保や救急医療体制は重要と考えております。ドクターバンクや医学生修学貸付事業等の取組みにより、配置可能な医師を増やしております。今後も地域医療の復興や再生に一層、力を入れてまいります。

ふるさと
10年の歩み

市内トピックス



登米市市制施行 10 周年記念式典

登米市10年間のあゆみ



平成27年6月6日(土)、登米祝祭劇場において登米市市制施行10周年記念式典が開催されました。

式典には、宮城県副知事のほか、県選出国會議員、県議會議員をはじめ近隣の市町村、また姉妹都市である富山県入善町、米国テキサス州サウスレイク市や岩手県、静岡県からも首長などが来賓として出席され、市民の皆さんとともに10周年の節目を祝いました。

布施孝尚市長は式辞で「市民の皆さんに「合併して良かった」と心から感じていただけるよう努力してまいりました。今後も、活気と魅力にあふれ、誰もが健康で心豊かに暮らし、将来に夢や希望を持てる登米市を後世に引き継げるよう、次の10年を見据えた地方創生という新たな取り組みを進めてまいります」と述べました。

その後、市長から市政運営などで多大な貢献をいただいた22人に感謝状の贈呈が行われ、式典の最後には、本市迫町出身の世界的ピアニスト及川浩治さんの伴奏のもと、市内14の合唱団体と市内外から個人、団体約170人が集まり、本年2月に制定された登米市市民歌を華やかに披露しました。



平成 17 年	4 月	登米市誕生（登米郡8町及び本吉郡津山町が合併）
平成 19 年	4 月	豊里小学校と豊里中学校を小・中一貫校に
平成 19 年	4 月	市民バス本格運用開始
平成 19 年	6 月	三陸縦貫自動車道桃生津山インターチェンジ開通
平成 20 年	3 月	消防防災センター・消防本部・消防署完成
平成 20 年	4 月	新田第一小学校と新田第二小学校を統合し、新田小学校に／嵯峨立小学校と錦織小学校を統合し、錦織小学校に／鱒淵小学校と米川小学校を統合し、米川小学校に
平成 20 年	6 月	岩手・宮城県内陸地震発生
平成 21 年	3 月	斎場（火葬場）完成
平成 21 年	3 月	三陸縦貫自動車道登米インターチェンジ開通
平成 21 年	4 月	きたかみ園完成
平成 21 年	4 月	善王寺小学校と桜岡小学校を統合し、米山東小学校に
平成 22 年	3 月	汚泥再生共同処理センター完成
平成 22 年	3 月	豊里公民館・豊里総合支所完成
平成 22 年	3 月	三陸縦貫自動車道登米東和インターチェンジ開通
平成 22 年	10 月	登米市花鳥木制定
平成 23 年	3 月	東日本大震災発生
平成 23 年	4 月	市立病院再編（3病院、4診療所）
平成 23 年	5 月	市役所総合支所4出張所廃止（新田・米谷・錦織・横山）
平成 24 年	4 月	登米市まちづくり基本条例を施行
平成 25 年	4 月	佐沼小学校と森小学校を統合し、佐沼小学校に
平成 26 年	4 月	森公民館が完成。市内全ての公民館（ふれあいセンター）が指定管理に
平成 26 年	5 月	長沼ダム完成

活動アルバム



魚津おさかなランド視察（富山県魚津市）



水産業振興計画について（富山県議会）



世界農業遺産認定と里山・里海振興計画について（石川県議会）



沖縄電力訪問

お問い合わせ

ご意見

宮城県議会議員 わたなべ忠悦事務所

所在地：〒987-0511 登米市迫町佐沼字大綱 534

TEL：0220-23-7757 FAX：0220-23-7838

E-Mail：tkdmg013@ybb.ne.jp

ウェブサイト <http://watanabe-chuetsu.jp>

渡辺忠悦

検索



近所にお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。どんな小さなことでもよろしいので話をお聞かせ下さい。

